

編集後記

令和4年5月、新緑がまばゆい季節となりました。新型コロナウイルス感染症の追加ワクチン接種の政府広報がテレビから流れるこの頃、連休明け依然東京都では日々3000人を超える感染者が報告されています。新型コロナウイルス感染症との付き合い方も多様化しつつあり、人と人との新たなつながり方にも変化をもたらしているように感じます。

さて、本学会誌も昨年の創刊に続き第2巻の発行に繋げることが出来ました。今年度は1編となりましたが継続のための大きな1編であると考えます。新型コロナウイルス感染症の拡大が看護職に及ぼす影響は医療職の働き方や職場環境、ひいては社会全体にも影響すると予想される点について考察された1編とも言えます。

看護の現場の身近なそれだけで重要な課題を研究的視点で捉え論文にすることは、読み手に新たな知識として認識され、一方で対外的に情報発信するという重要な知識活動でもあります。論文を書くということは、自分の研究を公表することになります。東京都の看護職の皆様が、働くフィールドが変わってもその学問領域で新たな課題や関心事を研究され本学会誌に投稿されることを願っております。

これからも、東京都看護協会学会誌へのご意見、ご投稿を是非お願いいたします。

2022年5月吉日

「東京都看護協会学会誌」編集委員
公益社団法人東京都看護協会 大橋 純江

東京都看護協会学会誌 編集委員会

委員長：大橋 純江（公益社団法人 東京都看護協会）

編集委員：竹内 朋子（東京医療保健大学 東が丘看護学部）
（東京医療保健大学大学院 看護学研究科）

横井 郁子（東邦大学 看護学部）

駒形 朋子（国立国際医療研究センター国際医療協力局運営企画部保健医療開発課）

東京都看護協会学会誌 Vol. 2

令和4年6月10日発行

発行 公益社団法人 東京都看護協会

会長 山元 恵子

〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号

電話 03-6300-0730（代表）

印刷 株式会社 山菊

〒108-0004 東京都港区芝5-16-7 芝ビル3F

電話 03-5730-6688（代表）